【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2002-271543(P2002-271543A)
【公開日】平成14年9月20日(2002.9.20)
【出願番号】特願2001-66245(P2001-66245)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　27/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/00　D
Ｇ０３Ｂ　27/50　B

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月7日(2008.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原稿を搬送する原稿搬送手段と、
前記原稿搬送手段を駆動する駆動モータと、
前記原稿搬送手段により搬送された原稿の画像を読み取る画像読取部と、
前記画像読取部による読取動作を制御する制御基板と、
前記画像読取部に対向して位置し前記原稿搬送手段により搬送された原稿をガイドする原稿搬送路面を有する第一板金と、
前記第一板金と略直交し、該原稿の搬送方向の両側にそれぞれ配された第二板金及び第三板金と、を備え、
前記第二板金及び前記第三板金が前記第一板金に取り付けられて板金部を構成する画像読取装置であって、
前記板金部には、前記駆動モータと前記制御基板のうちの少なくともいずれかが取り付けられ、前記制御基板と前記駆動モータとを電気的に接続するモータ束線が前記板金部に沿って配線されていることを特徴とする画像読取装置。
【請求項２】
前記板金部には、操作者による操作により前記制御基板に読取動作の命令を送るオペレーションパネル基板が取り付けられ、前記モータ束線の代わりに前記制御基板と前記オペレーションパネル基板とを電気的に接続するオペレーションパネル束線が前記板金部に沿って配線されていることを特徴とする請求項１に記載の画像読取装置。
【請求項３】
前記板金部は、前記モータ束線を沿わせる溝を備えることを特徴とする請求項１に記載の画像読取装置。
【請求項４】
前記板金部は、前記オペレーションパネル束線を沿わせる溝を備えることを特徴とする請求項２に記載の画像読取装置。
【請求項５】
前記第一板金を保持する板金保持部材を有し、前記板金保持部材は、前記モータ束線を沿わせる溝を備えることを特徴とする請求項１に記載の画像読取装置。

【請求項６】
前記第一板金を保持する板金保持部材を有し、前記板金保持部材は、前記オペレーションパネル束線を沿わせる溝を備えることを特徴とする請求項２に記載の画像読取装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために本発明にあっては、
原稿を搬送する原稿搬送手段と、
前記原稿搬送手段を駆動する駆動モータと、
前記原稿搬送手段により搬送された原稿の画像を読み取る画像読取部と、
前記画像読取部による読取動作を制御する制御基板と、
前記画像読取部に対向して位置し前記原稿搬送手段により搬送された原稿をガイドする原稿搬送路面を有する第一板金と、
前記第一板金と略直交し、該原稿の搬送方向の両側にそれぞれ配された第二板金及び第三板金と、を備え、
前記第二板金及び前記第三板金が前記第一板金に取り付けられて板金部を構成する画像読取装置であって、
前記板金部には、前記駆動モータと前記制御基板のうちの少なくともいずれかが取り付けられ、前記制御基板と前記駆動モータとを電気的に接続するモータ束線が前記板金部に沿って配線されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】